

市内高校生によるリニアの取り組み②

「リニア中央新幹線」計画についてシリーズでお伝えしています。

今月は、市内の高校生によるリニア中央新幹線への理解と関心を深める取り組みをご紹介します。

問 リニア対策課(☎内線214)

坂下高校の取り組み

8月11日、今年度坂下高校が副会長校を務める岐阜県高等学校家庭クラブ連盟の代議員会・指導者講習会が坂下公民館で開催され、同校の生徒さんによる呈茶サービスで、生徒考案のリニア図柄が焼印されたおまんじゅうがふるまわれました。

また、同校では、年間を通してさまざまなボランティア活動が活発に行われており、夏、秋の交通安全運動では、リニア車両の図柄入りの横断幕を作成し、地域の方々とともに道路わきに横断幕を掲げ、交通安全の呼びかけが行われました。

さらに、10月から12月にかけて、家庭クラブが中心となり、JR坂下駅待合所の座布団製作が行われまし

た。この座布団は、リニアの文字や車両などをかたどった消しゴムはんこを製作し、それを押したオリジナル布で仕上げられ、待合所に設置されました。

これらのボランティア活動などを通して、市内外にむけて「リニアのまち 中津川」をPRしていただきました。



リニア図柄入り
まんじゅう



座布団製作の様子

阿木高校の取り組み

阿木高校では、農業クラブの生徒さんによるリニアL0系車両をモデルとしたリニアプラントーが製作され、10月31日開催の文化祭「龍胆祭」で展示されました。

当日は、リニアプラントーに葉ボタンが植えられ、訪れる人の目を楽しませていました。
(現在は市立図書館で展示されています。)



リニアプラントー

これらの市内高校生による取り組みは、リニア中央新幹線まちづくり推進中津川市民の会の助成を受けて実施されました。

JR東海へ要望書を提出

平成27年11月25日、リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会(以下同盟会)は、8月に開催した総会で決議された7項目について、JR東海柘植康英社長に要望書を手渡しました。

同盟会会長の古田肇岐阜県知事、副会長の青山市長、東濃各市の市長、御嵩町長が出席し、これまで要望を続けているリニア中央新幹線の早期実現や岐阜県での円滑な事業の推進に加え、今回新たにリニア岐阜県駅周辺整備への協力や、中部総合車両基地の産業観光資源としての活用などの項目が盛り込まれました。



JR東海社長に要望書を渡す古田知事、青山市長
他東濃5市長および御嵩町長